令和９年度

学　校　推　薦　型　選　抜
学　生　募　集　要　項

◎　この学生募集要項は，帯広畜産大学の学校推薦型選抜への出願者のために作成してあります。

学校推薦型選抜の出願はインターネット出願登録サイト及び必要書類の郵送により行います。

今後の社会状況によっては，やむを得ず内容を変更する場合があります。

変更がある場合は本学ウェブサイトに掲載しますので，試験当日まで定期的に確認いただきますようお願いいたします（試験日前日までにお知らせを掲載する場合があります）。

トップページ上のメニュー「入試情報」内の「入試に関するお知らせ」

URL：https://www.obihiro.ac.jp/nyushi

「入試に関するお知らせ」QR コード：

帯　広　畜　産　大　学

目　　次

Ⅰ　帯広畜産大学畜産学部畜産科学課程　教育ポリシー（方針）…… 1

Ⅱ　学校推薦型選抜（畜産科学課程，Ａ推薦）
1　実施課程及び募集人員 …… 6
2　出願資格・要件 …… 6
3　入学者選抜方法 …… 6

Ⅲ　学校推薦型選抜（畜産科学課程，Ｂ推薦）
1　実施課程及び募集人員 …… 7
2　出願資格・要件 …… 7
3　入学者選抜方法 …… 7

Ⅳ　学校推薦型選抜（畜産科学課程，Ｃ推薦）
1　実施課程及び募集人員 …… 8
2　出願資格・要件 …… 8
3　入学者選抜方法 …… 8
4　修学支援 …… 8

Ⅴ　学校推薦型選抜共通事項
1　出願手続 …… 9
2　障がい等のある志願者との事前相談 …… 12
3　学力検査等の日時・場所 …… 12
4　合格発表 …… 13
5　入学手続 …… 13
6　日本学生支援機構給付奨学生に採用された方の入学料免除・授業料免除 …… 14
7　帯広畜産大学独自の入学料の免除・徴収猶予 …… 14
8　帯広畜産大学独自の授業料の免除・徴収猶予 …… 15
9　学生寄宿舎について …… 16
10　学生教育研究災害傷害保険について …… 16
11　他の選抜への出願等について …… 16
12　入学前の学習課題について（畜産科学課程Ａ推薦のみ）…… 16
13　個人情報の取扱いについて …… 16

○　試験成績等の開示 …… 17
○　出願書類の提出・問い合わせ先 …… 17
○　帯広畜産大学所在地及び交通案内図 …… 18

Ⅰ　帯広畜産大学畜産学部畜産科学課程　教育ポリシー（方針）

◎目指すべき人材像

食と農の大切さ，動植物の命の尊さを心得た素養を基礎として，「農場から食卓まで」の幅広い視点で現場に適応できる知識と実践力を有するとともに，地球規模課題解決等の国際的視野を備えたグローバル人材

○アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

入学者に求める資質（期待する学生像）

帯広畜産大学は，獣医・農畜産融合の視点から，農場から食卓まで生命・食料・環境を科学し，農畜産の幅広い分野で活躍する実践的な専門職業人を育成するため，以下のような人を学生として求めています。

1. 「農場から食卓まで」の幅広い考え方で現場に適応できる知識と能力を身につけたい人
2. 北海道十勝地域の豊かな自然と風土のもとで，食と農の大切さ，動植物の命の尊さを学びたい人
3. 食や環境等に関する地球規模の社会問題を解決する能力を身につけたい人
4. 農畜産学及び獣医学とそれらを支える様々な関連学術領域について学ぶために必要な基礎学力を身につけている人
5. 自分の意見を持ちつつも，他の多様な意見や価値観を尊重して協力することができる人

○入学者選抜の基本方針

1. 農畜産科学及び獣医学を学ぶための基本的な学力や思考力を備えているかどうかを重視します。
2. 個別学力検査では，農畜産科学及び獣医学を修得するために必要な理系教科の基礎知識及びその応用的思考力，そしてグローバルな情報を理解するための英語力を評価の対象とします。
3. 学校推薦型選抜，帰国生選抜，社会人選抜及び私費外国人留学生選抜では，情報の理解力と分析力，自身の考えを表現する力，コミュニケーション能力，そして学習意欲を評価の対象とします。
4. 国際バカロレア選抜では，国際バカロレアで学んだ学習成果をもとに，主体的に学び考える力，課題を発見・解決する力，異文化コミュニケーション能力等，グローバル社会で活躍できる素養について評価の対象とします。
5. 総合型選抜では，農畜産科学を修得するために必要な理系教科の基礎知識及びその応用的思考力，農畜産科学分野においてもニーズが高まっているデータサイエンスに関連した情報・統計・計算を扱う能力及びビッグデータを読み解く能力，そして学習意欲を評価の対象とします。

○入学前に学習しておくことが期待される内容

・理科は，農畜産学及び獣医学領域に共通する専門基礎として十分な理解が必要です。
・国語・数学は，論理的思考に必須の基礎科目であり，また国語・英語は情報収集・発信及びコミュニケーションに必須の科目であり，いずれも十分な修得が必要です。
・情報は，対象を正しく捉え理解し，またそれを正しく伝えるために十分な理解が必要です。
・社会及びその他科目は，広範な農畜産学及び獣医学分野を俯瞰でき，また広い視野を持つために必須である教養を大学で修得する助けになります。

○各選抜区分における評価方法間の比重について

入試区分	受け入れる学生に求める学習成果					
	知識・技能		思考力・判断力・表現力等の能力		主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	
一般選抜（前期日程）	◎	大学入試共通テスト	◎	個別学力検査	☆	調査書
一般選抜（後期日程）	◎	大学入試共通テスト	○	個別学力検査（小論文）	○	個別学力検査（面接）、調査書
学校推薦型選抜	☆	推薦書、調査書	◎	小論文	◎	面接、調査書
総合型選抜	◎	大学入試共通テスト	○	面接、自己推薦書	○	面接、調査書
帰国生選抜	☆	資格・成績証明書（調査書）、推薦書、学習記録、英語学部試験	◎	小論文	◎	面接、志望理由書
社会人選抜	☆	英語外部試験、成績証明書（調査書）	◎	小論文	◎	面接、志望理由書
国際バカロレア選抜	☆	資格・成績証明書（調査書）、学習記録、英語学部試験	◎	小論文	◎	面接、志望理由書
私費外国人選抜	☆	日本留学試験、成績証明書等、英語外部試験	◎	面接、志望理由書	◎	面接、志望理由書

注）◎は特に重視する要素、○は重視する要素、☆は総合的な判断となる要素

○ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

帯広畜産大学では，教育課程で定められた授業科目を履修して所定の卒業要件単位数を修得し，以下の知識や能力を身につけた学生に学士の学位を授与します。

1. 獣医・農畜産融合の視点から，食料の生産から消費に至る過程についての関心が高く，課題解決に向けて取り組む態度を身につけている。
2. 国際化社会で必要となる見識と基礎的コミュニケーション能力を身につけている。
3. 獣医農畜産の専門教育コースである下記ユニットの専門知識、技術及び課題解決に向けた基本的能力を身につけている。

＜共同獣医学課程＞

- 獣医師としての任務を遂行するための論理性および倫理性に裏打ちされた行動規範を身につけている。
- 動物疾病の予防・診断・治療，動物の健康の維持増進，公衆衛生等に関する卓越した知識・技術を身につけている。
- 安定的な食料供給，家畜及び畜産物の安全確保，人獣共通感染症対策等地球規模の課題解決に貢献するための国際的視点と知識・技術を身につけている。
- 最先端の生命科学研究に触れ，生命現象の新たな発見や医薬品の開発等において獣医学を基礎とした課題解決能力と国際的な活動を実践する能力を身につけている。

＜畜産科学課程＞

家畜生産科学ユニット

- 家畜の飼養管理，繁殖や改良，乳肉の生産についての専門知識を身につけている。
- 上記の技術及び課題解決に向けた基本的能力を身につけている。

環境生態学ユニット

- 多様な生物群からなる生態系の仕組み，農畜産環境及びそれを取り巻く自然環境に関する専門知識を身につけている。
- 上記に関する技術と，課題解決に向けた基本的な能力を身につけている。

食品科学ユニット

- 食品の一次機能（栄養成分とエネルギー），二次機能（おいしさや食感）及び三次機能（生体調節や健康）に関する専門知識を身につけている。
- 上記の技術及び課題解決に向けた基本的能力を身につけている。

農業経済学ユニット

- 農畜産の生産，加工，流通，消費に関わる諸問題の把握や分析に必要な社会科学的な専門知識を身につけている。
- 上記の技術及び課題解決に向けた基本的能力を身につけている。

農業環境工学ユニット

- 農業生産の基盤である農村環境の評価や保全管理の技術とともに，農業機械の高度化技術やバイオマス資源・雪氷冷熱の活用技術に関する専門知識を身につけている。
- 上記の技術及び課題解決に向けた基本的能力を身につけている。

植物生産科学ユニット

- 植物生産を支える土壌と病害虫を含めた栽培環境から，その環境で育つ作物の生理，生態及び育種に関する専門知識を身につけている。
- 上記の技術及び課題解決に向けた基本的能力を身につけている。

○カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）

帯広畜産大学学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき，農畜産学及び獣医学とこれらに関連する諸学術分野について，以下の方針に沿って教育課程を編成します。

Ⅰ．教育内容

1. 農畜産学及び獣医学とそれらを支える様々な関連学術領域に関する幅広い視野と専門性を養います。
2. 食料生産及び食の安全に関わる授業科目を広く修得することで，「農場から食卓まで」の幅広い視野を養います。
3. 低学年では教養と語学力を向上させるための科目及び専門領域への導入的科目を，高学年では専門領域の科目を配置することで，修学の積み重ねを重視したアドバンス制教育を行い，着実な基礎に根ざした専門性を養います。
4. 専門教育コースであるユニットでは，より専門性を高めるための科目を配置するとともに，他ユニットの科目も適宜選択可能なシステムを設けることで，専門性を広げる教育を行い，生命，食料，環境に関する幅広い知識を養います。
5. 高学年で分属する研究室では，卒業研究や卒業研究ゼミナールを通して専門知識と技術の修得とともに，総合的思考力・応用力を養います。
6. 学生のキャリアを育てるための科目を配置し，見通しを持って主体的に卒業後の進路を切り開く力を養います。
7. 国際教育関連の科目群を配置し，国際社会での活動に対応できる能力を養います。
8. 専門性を身につけるための共同獣医学課程及び畜産科学課程の専門ユニットの科目編成方針は次の通りです。

＜共同獣医学課程＞

- 基盤教育科目・共通教育科目を配置し，獣医師としての任務を遂行するための論理性及び倫理性に裏打ちされた行動規範を養います。
- 展開教育科目を配置し，動物疾病の予防・診断・治療，動物の健康の維持増進，公衆衛生等に関する卓越した知識・技術を養います。
- 共通教育科目・展開教育科目を配置し，安定的な食料供給，家畜及び畜産物の安全確保，人獣共通感染症対策等地球規模の課題の解決に貢献するための国際的視点と知識・技術を養います。
- 最先端の生命科学研究に触れる展開教育科目を配置し，生命現象の新たな発見や医薬品の開発等において獣医学を基礎とした課題解決能力と国際的な活動を実践する能力を養います。

＜畜産科学課程＞

家畜生産科学ユニット

- 家畜の飼養管理，繁殖や改良，乳肉の生産についての知識と技術を養います。

環境生態学ユニット

- 多様な生物群からなる生態系の仕組み及び農畜産環境とその周囲を取り巻く自然環境を理解するための知識と技術を養います。

食品科学ユニット

- 食品の一次機能（栄養成分とエネルギー），二次機能（おいしさや食感）および三次機能（生体調節や健康）に関する専門知識を養います。

農業経済学ユニット

- 農畜産の生産，加工，流通，消費に関わる諸問題を，農業経済学や農業経営学を主とする社会科学的なものの見方や調査に基づき的確に把握する能力を養います。

農業環境工学ユニット

・農業生産の基盤である農村環境の評価や保全管理の技術とともに，農業機械の高度化技術やバイオマス資源・雪氷冷熱の活用技術に関する専門知識を養います。

植物生産科学ユニット

・植物生産を支える土壌と病害虫を含めた栽培環境から，その環境で育つ作物の生理，生態及び育種を総合的に理解するための専門知識を養います。

Ⅱ．教育方法

1. 学生の主体的学びを促進し，課題発見力・課題解決力を養うためのアクティブラーニングを積極的に取り入れます。
2. 「農場から食卓まで」の幅広い視点で現場に適応できる知識と能力を養うための実践的な演習・実習を行います。

Ⅲ．学習成果の評価の在り方

1. 授業科目における評価方法と基準について,各科目のシラバス及び成績評価基準を明記します。
2. 単位審査，進級審査，卒業審査方針については，別にアセスメント・ポリシーを定めて公表します。

○アセスメント・ポリシー（学修成果の評価方法）

帯広畜産大学畜産学部では，ディプロマ・ポリシー（DP）に掲げる能力・資質の修得状況，カリキュラム・ポリシーに則した学修状況について，大学教育センターの責任において以下の 3 つの審査方法により評価を行います。

１．単位審査

各科目の単位取得に係る学修の成果は，以下について審査します。

・授業への出席やレポート・課題の提出等，各科目で必要とする学修が行われたか
・各科目で設定された学修到達目標が達成されたか

２．進級審査

学生の進級に係る学修の成果は，以下について審査します。

・学修到達ルーブリックに基づき，学修ポートフォリオを利用して，各学年で必要とされるディプロマ・ポリシーの達成状況が確認されたか
・学修到達度調査（獣医学ユニットは加えて獣医学共用試験）により，各学年で必要とされるディプロマ・ポリシーの達成状況が確認されたか
・進級判定時に所定の単位を修得しているか

３．卒業審査

学生の卒業に係る学修の成果は，以下について審査します。

・学修到達ルーブリックに基づき，ディプロマ・ポリシーが達成されたと確認されたか
・卒業研究の単位認定において，卒業研究もしくは課題研究成果が，学位を得るべき内容であると確認されたか

Ⅱ　学校推薦型選抜（畜産科学課程，Ａ推薦）

1　実施課程及び募集人員

学　部　名	課　程　名	募　集　人　員
畜　産　学　部	畜　産　科　学　課　程	15 人

注：　畜産科学課程は，2 年次から各ユニットに分属します。

2　出願資格・要件

①の出願の対象となる高等学校等の②のいずれかの学科を令和８年４月以降に卒業（修了）した者又は令和 9 年 3 月までに卒業（修了）見込みの者で，かつ③及び④に該当し，人物，学力ともに優れ，当該学校長が責任をもって推薦できる者

① 出願の対象となる高等学校等
　ⅰ 高等学校
　ⅱ 中等教育学校
　ⅲ 特別支援学校の高等部
　ⅳ 高等専門学校の第 3 年次
　ⅴ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設の当該課程
② 対象学科
　ア）農業に関する学科
　イ）上記以外の学科（農業に関する専門科目※を 20 単位以上修得している場合に限る。）
　※　農業に関する専門科目には，原則履修科目を含む。
③ 出願時において，調査書全体の学習成績の状況が 3.8 以上の者で，かつ数学，理科，英語の学習成績の状況がいずれも 4.3 以上の者
④ 合格した場合は，入学することを確約できる者
　注：　学校推薦型選抜への出願について
　　国公立大学・学部の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合，課さない場合を含む。）への出願は，一つの大学・学部に限られています。

3　入学者選抜方法

大学入学共通テストを免除し，入学者の選抜は出願書類（推薦書，調査書，志望理由書），本学が実施する小論文及び面接の成績を総合して行います。

小論文（100 点）：　特定の課題を与えて 1,000 字程度の論述を課します。
面　接（100 点）：　複数の面接官による個人面接

Ⅲ　学校推薦型選抜（畜産科学課程，Ｂ推薦）

1　実施課程及び募集人員

学　　部　　名	課　　程　　名	募　集　人　員
畜　産　学　部	畜　産　科　学　課　程	40 人

注：　畜産科学課程は，2 年次から各ユニットに分属します。

2　出願資格・要件

①の出願の対象となる高等学校等を令和 8 年 4 月以降に卒業（修了）した者又は令和 9 年 3 月までに卒業（修了）見込みの者で，かつ②～④のすべてに該当し，人物，学力ともに優れ，当該学校長が責任をもって推薦できる者

① 出願の対象となる高等学校等
- ⅰ 高等学校
- ⅱ 中等教育学校
- ⅲ 特別支援学校の高等部
- ⅳ 高等専門学校の第 3 年次
- ⅴ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設の当該課程

② 出願時において，調査書全体の学習成績の状況が 4.0 以上の者

③「物理」「化学」「生物」及び「地学」の 4 科目のうちから 4 単位以上修得した者又は令和 9 年 3 月までに修得見込みの者。なお，この「物理」「化学」「生物」「地学」とは学習指導要領上の科目名であって，「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」「理科課題研究」は含みません。また，学校によって独自の科目名称をつけている場合は，調査書の備考欄に学習指導要領上の「物理」「化学」「生物」「地学」に相当するものであることを付記してください。

注：　理数科にあっては，「理数物理」「理数化学」「理数生物」及び「理数地学」の 4 科目のうちから 10 単位以上修得した者又は令和 9 年 3 月までに修得見込みの者。また，高等専門学校にあっては理科科目の修得に関する要件を特に設けません。

④ 合格した場合は，入学することを確約できる者

注：　学校推薦型選抜への出願について

国公立大学・学部の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合，課さない場合を含む。）への出願は，一つの大学・学部に限られています。

3　入学者選抜方法

大学入学共通テストを免除し，入学者の選抜は出願書類（推薦書，調査書，志望理由書），本学が実施する小論文及び面接の成績を総合して行います。

小論文（100 点）：　特定の課題を与えて 1,000 字程度の論述を課します。

面　接（100 点）：　複数の面接官による個人面接

Ⅳ　学校推薦型選抜（畜産科学課程，Ｃ推薦）

1　実施課程及び募集人員

学　部　名	課　程　名	募　集　人　員
畜　産　学　部	畜　産　科　学　課　程	若干人

注：　畜産科学課程は，2 年次から各ユニットに分属します。

2　出願資格・要件

①の出願の対象となる高等学校等を令和 8 年 4 月以降に卒業（修了）した者又は令和 9 年 3 月までに卒業（修了）見込みの者で，かつ②～⑤のすべてに該当し，人物，学力ともに優れ，当該学校長及び「社会福祉法人　全国社会福祉協議会　全国児童養護施設協議会」に加盟している児童養護施設（以下「加盟児童養護施設」という）の施設長（施設責任者）が責任をもって推薦できる者

① 出願の対象となる高等学校等
　ⅰ 高等学校
　ⅱ 中等教育学校
　ⅲ 特別支援学校の高等部
　ⅳ 高等専門学校の第 3 年次
　ⅴ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設の当該課程
② Ａ推薦またはＢ推薦の対象範囲でそれぞれの出願資格を有している者
③ 加盟児童養護施設に入所している者
④ 経済的な理由等により高等教育の修学が困難な者
⑤ 合格した場合は，入学することを確約できる者

注：　学校推薦型選抜への出願について
　　国公立大学・学部の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合，課さない場合を含む。）への出願は，一つの大学・学部に限られています。

3　入学者選抜方法

大学入学共通テストを免除し，入学者の選抜は出願書類（推薦書，調査書，志望理由書），本学が実施する小論文及び面接の成績を総合して行います。

小論文（100 点）：　特定の課題を与えて 1,000 字程度の論述を課します。
面　接（100 点）：　複数の面接官による個人面接

4　修学支援

当該選抜による入学者を対象として、在学中の学びを継続させるために以下の支援を行っています。

ただし，高等学校等在学中または本学入学後に国の高等教育修学支援新制度に申し込んでいただくことが条件となります。

①検定料免除　※出願時は自己負担いただき，入学後に返金します。
②入学料免除
③授業料免除
④寄宿料免除（月 6,400 円）※光熱水費等は自己負担
⑤給付型奨学金（高等教育修学支援新制度の給付奨学金と合わせて月 10 万円）
　※支給額が 10 万円となるように大学が差額を補填します。

Ⅴ　学校推薦型選抜共通事項

1 出　願　手　続

(1) 出願方法等

① 出願方法

(2)で記載する出願期間までに，本学のインターネット出願システムへの入力及び出願書類の郵送（または持参）により手続きしてください。

なお，郵送の場合は必ず「簡易書留・速達」としてください。

持参の場合の受付時間は８時 30 分から 17 時までです。ただし，土・日曜日は受付を行いません。

【インターネット出願システムにアクセスする前に】

・インターネット出願システムの URL 及び入力開始日は９月上旬頃に本学のホームページ（学部入試のページ）に掲載します。

・出願の際は，プリンター（出願書類出力用），メールアドレス，顔写真データ（形式は jpg で２MB まで。詳細は７ページ参照），調査書等が必要となりますので，必ず用意してから出願してください。

・インターネット出願システムに入力・登録しただけでは出願は完了しません。必ず出願書類の郵送（または持参）が必要ですので，郵送期間を十分に考慮し出願してください。

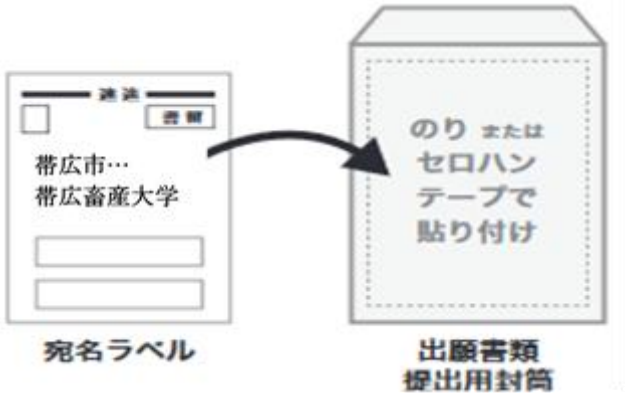
・インターネット出願サイト利用中の操作ミスや，接続不良を理由とした出願期間後の申込は受付ませんので，インターネット環境に不安のある方は必ず出願期間前に入試課までご相談ください。

・インターネット出願システムで登録後，登録内容の修正はできません。必ず，登録前に間違いがないことを確認して手続きしてください。

・検定料はコンビニエンスストア，金融機関 ATM【Pay-easy】，インターネットバンキング、クレジットカードのいずれかでお支払いください。検定料の支払いには支払方法に関わらず、入学検定料の他に手数料が必要となります。

支払期日は，インターネット出願システムで入力・登録した日の翌日まで（出願期間最終日に登録した場合の支払は当日）となります。支払期日を過ぎた場合は，登録した内容はキャンセルとなりますのでご注意ください。

② 出願書類

	出　願　書　類	摘　　要
1	入　学　志　願　票 写真のアップロード ★インターネット出願システムより登録・印刷し，入試課に郵送・持参すること。	インターネット出願システムにて，必要事項を入力し，出願前３ヶ月以内に撮影した志願者のカラー写真データ（上半身・脱帽・正面向き）をアップロードしてください。その後，検定料の支払手続を行い，入学志願票を片面印刷してください。 **※検定料支払後にインターネット出願システムから A4 サイズ（縦）で入学志願票を~~カラー~~印刷してください。** **※アップロードした写真が「承認待ち」となっていても，入学志願票を出力して，出願期間内に提出してください。** **※写真については，受験時に眼鏡をかける者は，必ず眼鏡をかけて撮影したものにしてください。**
2	宛　名　ラ　ベ　ル ★インターネット出願システムより印刷し，入試課に郵送・持参する際に使用すること。	・インターネット出願システムから本学様式の宛名ラベルを印刷し，出願用封筒（市販の角型２号封筒）に貼り付けてください。 
3	志　望　理　由　書 ★入学志願票とともに同封すること。	・ホームページ（学部入試のページ）よりダウンロードした本学所定の様式に，畜産科学課程を志望する理由を 1,000 字程度で記入してください。
4	推　　薦　　書 ★入学志願票とともに同封すること。	・ホームページ（学部入試のページ）よりダウンロードした本学所定の様式により，出身学校長が作成し厳封したもの **※Ｃ推薦で出願する者は，出身学校長が作成した推薦書に加えて，加盟児童養護施設の施設長が作成し厳封した推薦書も提出てください（ホームページに様式掲載）。**
5	調　　査　　書 ★入学志願票とともに同封すること。	・文部科学省所定の様式により，出身学校長が作成し厳封したもの ・廃校，被災その他の事情により出身学校長が作成する調査書が得られない場合は，卒業証明書，成績表その他入学志願者が提出できる書類

③　検定料　（**17,000 円**）等払込方法

払込期間：令和 8 年 10 月 16 日（金）～令和 8 年 11 月 6 日（金）16:00 まで

インターネット出願システムで志願者情報等を入力し，入力内容が正しいことを確認した上で，画面の指示に従って，コンビニエンスストア，金融機関 ATM【Pay-easy】，インターネットバンキング，クレジットカードのいずれかでお支払いください（払込手数料は志願者負担）。

注１：検定料が払込まれていない場合，インターネット出願システムで入学志願票等を印刷できません。

注２：普通為替や現金では受理できません。

注３：発行された検定料の領収書（支払いを行ったお店の受領印が押されたもの）は，入学試験が終わるまで大切に保管してください。

注４：受理した検定料は返還できません。ただし，次の場合に限り，申出により検定料相当額を返還します。

ア）出願しなかった場合

イ）出願書類が受理されなかった場合

ウ）二重に払い込んだ場合

※　返還に関する問い合わせ先　　入試課入学試験係　℡ 0155-49-5321

(2) 出願期間と郵送（持参）先

出願期間：令和 8 年 11 月 2 日(月)～令和 8 年 11 月 6 日（金）（最終日消印有効）

※　インターネット出願システムへの登録及び検定料の支払いが完了しても，出願書類の提出期限に書類が届かない場合は，出願を受理しませんので注意してください。

ただし，投函日が 11 月 5 日（木）～6 日（金）の場合は，必ず郵送前に出力済の入学志願票の写しをメールまたはＦＡＸにより，入試課入学試験係へ送信してください（連絡先は以下のとおり）。

※出願書類の郵送（持参）先

〒080-8555　北海道帯広市稲田町西２線１１番地　帯広畜産大学入試課　入学試験係 宛

TEL：0155-49-5321　　FAX 0155-49-5420　　メール nyushi@obihiro.ac.jp

(3)出願上の注意事項

ア）受理した出願書類等は，返還することができません。

イ）入学志願票の「連絡先」に変更があった場合は，直ちに電話または電子メールで連絡してください。

(4)受験票について

出願書類が受理された志願者は，**11 月 11 日（水）10:00 より**，インターネット出願システムから受験票の印刷が可能となりますので，**各自印刷して試験当日必ず持参してください。**

受験票が印刷できない場合は，入試課（TEL 0155-49-5321）にお問い合わせください

2　障がい等のある志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で，障がい等のある者については，受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので，出願の前にあらかじめ本学と相談を行ってください。

(1) 事前相談を必要とする障がい等の程度

区　　分	特別な配慮の対象となる者
①　視覚障がい	・点字による教育を受けている者 ・両眼の矯正視力がおおむね 0.3 未満のうち，拡大鏡等の使用によっても通常の文字，図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 ・視力以外の視機能障害が高度の者のうち，拡大鏡等の使用によっても通常の文字，図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 ・上記以外で視覚に関する配慮を必要とする者
②　聴覚障がい	・両耳の平均聴力レベルが 60 デシベル以上の者 ・上記以外で聴覚に関する配慮を必要とする者
③　肢体不自由	・体幹の機能障がいにより座位を保つことができない者又は困難な者 ・両上肢の機能障がいが著しい者 ・上記以外で肢体不自由に関する配慮を必要とする者
④　病　　弱	・慢性の呼吸器疾患，心臓疾患，腎臓疾患，消化器疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者
⑤　発達障がい	・自閉症，アスペルガー症候群，広汎性発達障がい，学習障がい，注意欠陥多動性障がいのため配慮を必要とする者
⑥　そ　の　他	・①～⑤の区分以外の者で特別な配慮を必要とする者

注：　日常生活において，ごく普通に使用されている補聴器，松葉杖，車椅子等を使用して受験する場合も試験場設定や他の特別な配慮との関係から必ず事前に相談してください。

(2) 相談の期限

令和 8 年 11 月 6 日（金）

注：　相談の期限後の不慮の事故その他特別な理由により，事前相談が必要になった場合は，直ちに(3)の連絡先に申し出てください。

なお，必要な場合には，本学において志願者又はその内容を説明し得る出身学校関係者等との面談を行うこともあります。事前相談書の様式は本学ホームページの入試情報に掲載しています。

(3) 連絡先　　17 ページに記載してあります。

3　学力検査等の日時・場所

実　施　期　日	時　　間	科　目　等	試　験　場
令和 8 年 11 月 28 日(土)	9:30～11:00（90 分）	小　論　文	帯広畜産大学
	12:00～	面　　接	

注：受験上の注意事項

ア）受験の際は，受験票を必ず持参してください。

イ）9 時までに試験室に入室してください。なお，試験室へは 8 時 30 分から入室することができます。

ウ）試験開始時刻に遅刻した場合は，試験開始時刻後 30 分以内の遅刻に限り，受験を認めます。

エ）上靴を持参する必要はありません。

オ）試験室内での携帯電話，スマートフォン，音楽プレーヤー等の電子機器の使用は認め

られませんので，入室後は電源を切り，かばん等に入れて身につけないでください。
カ）試験中の筆記用具等の貸し借り及び下敷き・色鉛筆の使用は許可しません。
キ）試験時間中は，受験票，筆記用具，時計（計時機能だけのもの），メガネ，ハンカチ，ティッシュペーパー（袋又は箱から取り出したもの），目薬のほかは机上に置くことはできません。それ以外のものは，足元等に置いてください。
ク）試験室ではすべて監督者の指示に従ってください。また，もし不正行為があった場合には，受験結果をすべて無効とし，引き続いて受験することは許可しません。
ケ）試験中，質問がある場合又は具合が悪くなったときは，手をあげて監督者がそばに来てから申し出てください。
コ）昼食は各自持参のうえ，面接控室の自分の座席でとってください。
サ）試験場の下見はできません。試験場配置図は 11 月 25 日（水）を目処に本学ホームページに掲載しますので，そちらで確認してください。
シ）試験当日，付添人は試験場内に入ることはできません。
ス）遠方からの受験者は，天候等による交通機関の遅れを考慮し，余裕をもった日程を組む等のほか，衣服・履物等にも十分留意してください。

4 合 格 発 表

(1) 合格者の受験番号は，下記日時に本学ホームページに掲載するとともに，合格者には合格通知書を「レターパック」で郵送します。

合 格 発 表 日 時： 令和 8 年 12 月 8 日（火）10 時頃
本学ホームページ URL： https://www.obihiro.ac.jp/

(2) 出身学校長には，選抜結果を通知します。
(3) 電話等による合否の照会には，応じられません。

5 入 学 手 続

入学試験に合格した者には，入学手続に必要な書類等を合格通知書とともに送付します。

(1) 入学手続期間
令和 8 年 12 月 8 日（火）～令和 8 年 12 月 23 日（水）（最終日 17 時必着）

(2) 提出書類
誓約書
その他必要な書類は入学手続時に案内します。

(3) 納付金
入学料 282,000 円
注： 上記の納付金は現行額であり，入学時に学生納付金の改定が行われた場合には，改定時から新たな納付金が適用されます。

(4) 入学手続上の注意事項
ア）持参の場合の受付時間は，8 時 30 分から 17 時までです。ただし土・日曜日及び祝日は受付を行いません。
郵送の場合は必ず**「書留速達」**としてください。
イ）入学料は，本学所定の払込取扱票により入学手続期間内に最寄りの郵便局・ゆうちょ銀行から払い込んでください。
ウ） 特別の事情があり入学を辞退するときは，出身学校長を経由して「学校推薦型選抜辞退願」（任意様式。ただし，出身学校長の押印があるもの）を令和 8 年 12 月 23 日(水)までに本学学長あてに提出して許可を受けてください。
エ）合格者はウ)に定める手続きにより入学辞退の許可を得た場合を除いて，本学，他の国公立大学・学部（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く）を受験しても入学許可は得られません。
オ）ウ)で入学辞退を許可された者は，出願済みの国公立大学・学部の個別学力検査等を受験し，合格者となりえます。
カ）入学手続期限までに必ず**「入学手続」又は「入学辞退」のどちらかを行ってください。**

授業料について（参考）
前期分　267,900 円　後期分　267,900 円
※金額は前期・後期とも予定額です。
※納入期限は，前期分が 5 月末日，後期分については 11 月末日です。

(5) その他入学に際しての諸手続等

その他入学に際して必要な諸手続及び入学式，オリエンテーション等については，合格通知書と一緒に郵送します。

6　日本学生支援機構給付奨学生に採用された方の入学料免除・授業料免除

令和 2 年 4 月から始まった国の「高等教育の修学支援新制度」により日本学生支援機構（以下「JASSO」という）の給付型奨学金の対象者となる方（JASSO 給付奨学生）は，入学料及び授業料も併せて減免されます。

制度の詳細については、下記 JASSO ホームページをご確認ください。なお，本制度における本学の入学料免除及び授業料免除申請手続きの方法については，合格発表後に郵送される入学案内に記載しておりますので，申請希望の方は確認の上，定められた期間内に申請してください。

JASSO ホームページ＜奨学金の制度（給付型）＞
URL：https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kyufu/index.html

［給付奨学生免除・問い合わせ先］
〒080-8555　帯広市稲田町西 2 線 11 番地
帯広畜産大学　学生支援課学生生活支援係
TEL 0155-49-5310（直通）（月～金 8:30～17:15）

7　帯広畜産大学独自の入学料の免除・徴収猶予

令和 2 年 4 月以降入学の学部生の入学料免除は，「高等教育の修学支援新制度」により実施しますが，次の申請資格に該当すると認められる方に対しては，従来の，以下「帯広畜産大学独自の入学料の免除・徴収猶予」の制度により，本人の申請に基づき，選考の上，予算の範囲内で入学料の全額または半額を免除する制度及び入学料の納入を猶予する制度がありますので，希望する方は下記要領により申請してください。

(1) 入学料免除対象者[申請資格]

令和 8 年 4 月から令和 9 年 3 月までの間に，次の申請資格ア）またはイ）のいずれかの特別な事情があり，入学料の納入が著しく困難であると認められる場合は，入学料の免除を申請することができます。

ア）入学する者の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という）が死亡した場合

イ）入学する者もしくは学資負担者が大規模な風水害等の災害を受けた場合

※「平成 30 年 7 月豪雨」，「北海道胆振東部地震」，「令和元年台風第 19 号」，「令和 2 年 7 月豪雨」等激甚災害により，家計支持者が被災し，被災状況が半壊以上で罹災証明書が発行された世帯の方については，上記期間に関わらず下記の(5)にご相談ください。

(2) 入学料徴収猶予対象者[申請資格]

経済的理由により入学料の納入期限までに納入が困難であり，かつ学業優秀と認められる場合，または上記「(1)入学料免除対象者[申請資格] ア)またはイ）」のいずれかに該当し，入学料の納入期限までに納入が困難であると認められる場合には，入学料の徴収猶予を申請することができます。（徴収猶予申請が認められた場合でも，納入すべき金額が減免されるわけではありません。）

(3) 入学料免除の額

納付すべき入学料の全額または半額

(4) 申請書類の請求・提出方法

免除または徴収猶予対象に該当し希望する方は，郵便番号・住所・氏名を明記し，180 円分の

切手（速達の場合は 480 円）を貼った返信用封筒（角型２号）を同封の上，大学宛ての封筒の表に朱書きで「学部入学料免除申請書類請求」と明記し，下記の(5)に請求してください。

請求期間　　令和８年 11 月２日(月)～令和８年 11 月６日(金)

提出期間　　令和８年 12 月８日(火)～令和８年 12 月 23 日(水)

(5) 請求先及び提出先

〒080-8555　帯広市稲田町西２線 11 番地

帯広畜産大学　学生支援課　学生生活支援係

TEL 0155-49-5310（直通）（月～金 8:30～17:15）

(6) 注意事項

ア）入学料免除（または徴収猶予）の申請をした方については，選考結果が決定するまでの入学料の納入が猶予されます。

イ）入学料免除の選考結果が不許可又は半額免除であった場合，その決定があった日から 14 日以内に該当の入学料を納入しなければなりません。

ウ）徴収猶予が許可となった場合は，許可された期限までに，該当の入学料を納入してください。

エ）全額免除以外の場合で，指示された期限内に該当の入学料を納入しない場合，除籍となります。

8　帯広畜産大学独自の授業料の免除・徴収猶予

令和２年４月以降入学の学部生の授業料免除は，「高等教育の修学支援新制度」により実施しますが，次の申請資格に該当すると認められる方に対しては，従来の，以下「帯広畜産大学独自の授業料の免除・徴収猶予」の制度により，本人の申請に基づき，選考の上，予算の範囲内で授業料の全額または半額を免除する制度及び授業料の納入を猶予する制度があります。詳細は合格発表後に郵送される入学案内に記載しておりますので，申請希望の方は確認の上，定められた期間内に申請してください。

(1) 授業料免除対象者[申請資格]

令和８年４月から令和９年３月までの間に，次の申請資格ア）またはイ）のいずれかの特別な事情があり，授業料の納入が著しく困難であると認められる場合は，授業料の免除を申請することができます。

ア）学資負担者が死亡した場合

イ）学生もしくは学資負担者が大規模な風水害等の災害を受けた場合

※「平成 30 年７月豪雨」，「北海道胆振東部地震」，「令和元年台風第 19 号」，「令和２年７月豪雨」等激甚災害により，家計支持者が被災し，被災状況が半壊以上で罹災証明書が発行された世帯の方については，上記期間に関わらず下記の(3)にご相談ください。

(2) 授業料徴収猶予対象者[申請資格]

経済的理由により授業料の納入期限までに納入が困難であり，かつ学業優秀と認められる場合，または上記「(1)授業料免除対象者[申請資格] ア)またはイ）」のいずれかに該当し，授業料の納入期限までに納入が困難であると認められる場合には，授業料の徴収猶予を申請することができます。（徴収猶予申請が認められた場合でも，納入すべき金額が減免されるわけではありません。）

(3) 授業料免除・問い合わせ先

〒080-8555　帯広市稲田町西２線 11 番地

帯広畜産大学　学生支援課　学生生活支援係

TEL 0155-49-5310（直通）（月～金 8:30～17:15）

(4) 注意事項

ア）授業料免除（または徴収猶予）の申請をした方については，選考結果が決定するまでの授業料の納入が猶予されます。

イ）授業料免除の選考結果が不許可又は半額免除であった場合，本学が指定する日までに授業料を納入しなければなりません。

ウ）徴収猶予が許可となった場合は，許可された期限までに，該当の授業料を納入してください。

エ）授業料免除は，半期（前半期・後半期）ごとに申請が必要です。

9　学生寄宿舎について

本学には，大学構内に学生寄宿舎（寮）があります（全個室）。

男子ブロックは 144 名，女子ブロックは 158 名となっており，両ブロック間の行き来はできません。詳細については，本学ホームページを参照してください。

入寮の手続きについては，合格通知の際に別途説明します。

10　学生教育研究災害傷害保険について

本学では，大学生活を安心して過ごせるよう，学生教育研究災害傷害保険へ加入していただきます。詳細については，合格通知の際に別途説明します。

11　他の選抜への出願等について

本学の学校推薦型選抜は，合格した場合に入学することを確約する入試となっております。このため，合否が判定するまでは，本学を含む国公立大学・学部等の学校推薦型選抜及び総合型選抜に出願することはできません。なお，結果が不合格となった場合に備えて，本学及び他の国公立大学・学部の一般選抜等に出願することは可能ですが，本学の学校推薦型選抜に合格した場合は，本学に入学していただくこととなります。

12　入学前の学習課題について（畜産科学課程Ａ推薦のみ）

畜産科学科課程Ａ推薦の合格者には，入学までに取り組むべき基本教科の課題を課します。詳細は，合格通知書とともに通知します。

13　個人情報の取扱いについて

(1) 本学が保有する個人情報は，「個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに，「北海道国立大学機構保有個人情報管理規程」に基づき，保護に万全を期しています。

(2) 出願時に提供いただいた氏名，住所等の個人情報については，入学者選抜，合格発表，入学手続，入学者選抜方法等における調査・研究及びこれらに付随する業務を行うために利用します。

(3) 各種業務での利用に当たっては，一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。業務委託に当たり，受託業者に対して，委託した業務を遂行するために必要となる限度で，お知らせいただいた個人情報の全部又は一部が提供されます。

(4) 入学者選抜で得られた試験成績の個人情報は，入学者選抜，入学者選抜方法等における調査・研究及びこれらに付随する業務を行うために利用します。

(5) 上記(2)及び(4)の個人情報のうち，合格者のみ，入学後の教務関係（修学指導等），学生支援関係（奨学金申請・授業料免除申請等）に関する業務及びこれらに付随する業務を行うために利用します。なお，合格者には入学手続き時にあらためてお知らせします。

(6) 国公立大・学部の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため，学校推薦型選抜の合格及び入学手続に関する個人情報（氏名及び大学入学共通テストの受験番号）が，独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

○試験成績等の開示

本学では，本人からの請求に基づき，令和９年度入学者選抜に係る試験成績について，次により開示します。

開 示 方 法	窓口及び郵便による請求に基づき「成績開示通知書」を交付します。
開 示 内 容	小論文・面接の成績及び順位
請 求 権 者	**受験生本人のみ**
本人の確認	**本学の受験票（コピー・写真不可，紛失した場合請求不可）**
請 求 方 法	「成績開示請求書」は窓口で記入するか，本学ホームページ「入試情報」からダウンロードし，記入してください。 ① 窓口の場合（帯広畜産大学新入生のみ） **成績開示請求書**及び，**本学の受験票**を提出してください。 ② 郵便による場合 **成績開示請求書**，**本学の受験票**及び**返信用封筒**（郵便番号・住所・氏名を明記し，**590 円分の切手**を貼付したもの。サイズは長型３号。）を下記「請求先」に送付してください。 大学あての封筒の表には，**「成績請求」**と朱書きしてください。 ※返信分の切手代には書留料を含みます。
請 求 期 間	令和９年５月６日（木）～令和９年５月 31 日（月）
請 求 先	〒080-8555　北海度帯広市稲田町西２線 11 番地 帯広畜産大学　入試課　入学試験係

○　出願書類の提出・問い合わせ先

〒080-8555　北海道帯広市稲田町西２線 11 番地
帯広畜産大学　入試課　入学試験係
℡　0155-49-5321（入学試験係直通）（月～金　8:30～17:15）
E-mail：nyushi@obihiro.ac.jp

帯広畜産大学ホームページのご案内

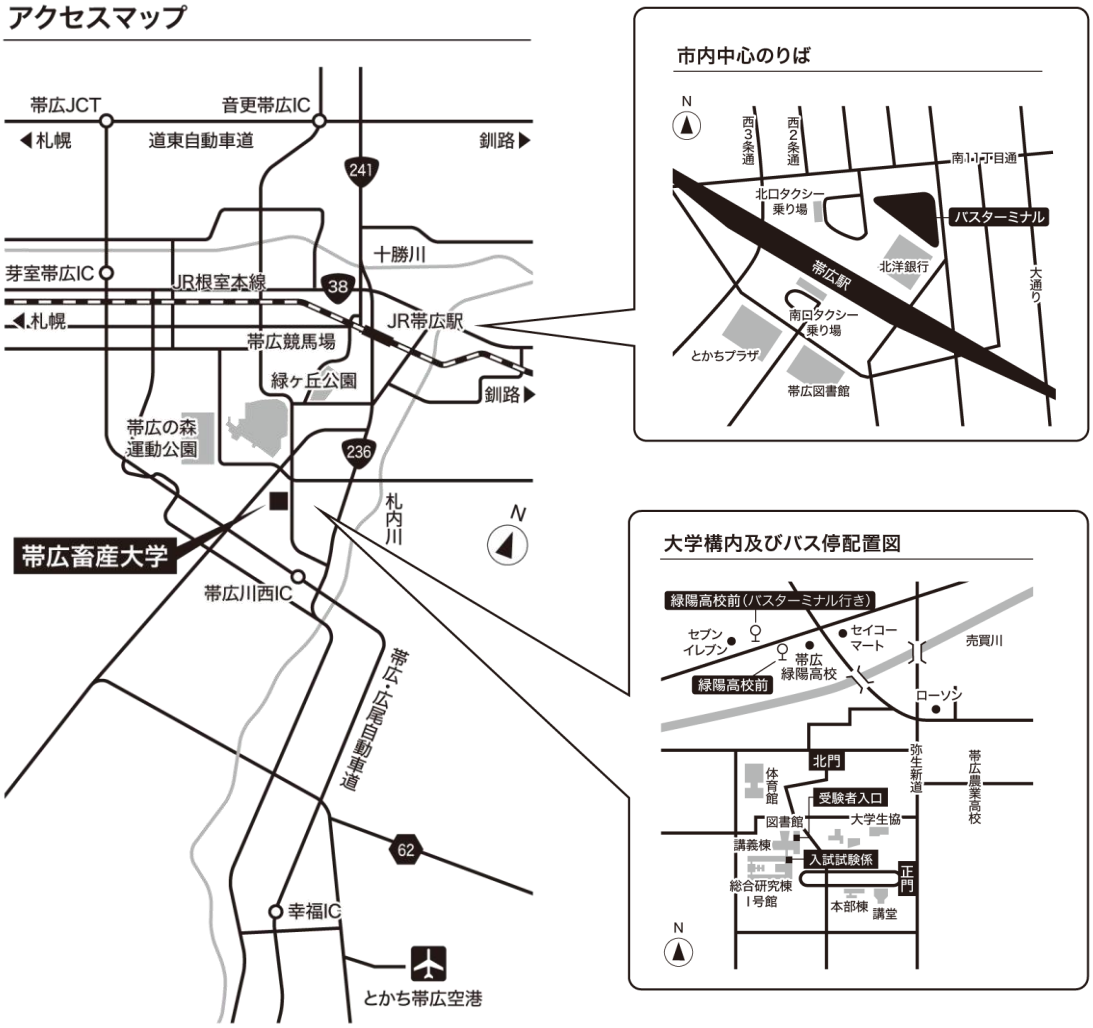
ホームページには，入試情報，各課程の紹介，大学の概要等が載っています。
アドレスは，次のとおりです。　https://www.obihiro.ac.jp

帯広畜産大学携帯電話サイトのご案内

出願状況速報，合格発表などの情報をスマートフォンや携帯電話から閲覧できます。
アドレスは，次のとおりです。　https://daigakujc.jp/obihiro
右のＱＲコードからも読み取れます。

帯広畜産大学所在地及び交通案内図

帯広畜産大学　北海道帯広市稲田町西2線11番地



●交通案内●

○帯広駅から本学まで

【十勝バス】

帯広駅バスターミナル9番から大空団地線（系統番号10・12）に乗車、「緑陽高校前」下車。
（約30分 480円、1時間に2本）
大学正門まで徒歩15分

【タクシー】

約15分 約2,400円（約7km）

○とかち帯広空港から本学まで

【バス】

とかち帯広空港→空港連絡バス（約40分 1,000円）→帯広駅バスターミナル
→上記の路線バス

【タクシー】

約30分 約7,000円（約21km）

十勝バス HP